

令和7年度 地域連携推進会議議事録

1. 事業所名 共同生活援助事業所「グループホーム向陽」
2. 日時 令和8年3月12日(木) 13時25分～14時45分
3. 場所 カブトガニの里 居間
4. 出欠

地域の関係者	2名
利用者	1名
利用者家族	1名
事業所職員	2名(管理者・サービス管理責任者)
その他法人職員	2名
・出席者	合計 8名
・欠席者	なし
5. 議題

第1号	地域連携推進会議の概要について
第2号	社会福祉法人たちばな会及びグループホーム向陽の概要について
第3号	意見交換

定刻前であったが、出席予定者全員が揃ったため事務局が開会を宣し、次第に沿って進行に入った。

理事長(事業所管理者兼務)の挨拶の後、事務局から出席者の紹介と各自より自己紹介があった。

事務局進行により議題に入った。

第1号 地域連携推進会議の概要について

事務局から資料に口頭で内容を付け加えながら今回の地域連携推進会議の目的や内容について説明があった。日本各地で福祉施設の不祥事があることも加えて報告され、地域の方や家族など第三者の目を入れることで透明性を確保し不正防止につなげたい旨を場に伝えた。

特に質問等はなく、議題第1号を終えた。

第2号 社会福祉法人たちばな会及びグループホーム向陽の概要について

事務局から資料を基に説明が行われた。

特に質問等はなく、議題第2号を終えた。

第3号 意見交換

- 地域の関係者 職員の体制は。
- 事業所 支援員、世話人がいます。毎日夜間の当直者がおり突発的なことにも対応できるようにしています。
- 地域の関係者 食事は。
- 事業所 毎日3食の提供ができるような体制です。4名の入居者が自家用車を所有しており、一般企業で働いています。
- 地域の関係者 ここを出た人もいる。
- 事業所 生活力を身に付け経済面でも自立され一般のアパートに生活の拠点を移された方がいます。福祉の理想形だと感じます。
- 地域の関係者 隣りに老人施設あるが。
- 事業所 伊万里向陽園ではこのグループホームのバックアップ支援をしてもらっています。
- 地域の関係者 こちらのグループホームは誰でも使えるのか。
- 事業所 市役所に申請して認められれば入居できます。
- 地域の関係者 働かなくてもいい。
- 事業所 はい、働かなくても大丈夫です。ただ、何らかの日中活動はされた方がいいかと思います。福祉施設に通うなり。
- 地域の関係者 行政のチェックがある。
- 事業所 はい、佐賀県の実地指導が定期的にあります。金銭管理については、行政もそうですが、保護者の方にいつでも開示できるよう案内しています。地域でご利用になられるような方がいらっしゃったらよろしくお願ひします。
- 保護者 いつもお世話になっています。
- 利用者 友達と遊びに行くのが楽しい。ここでの生活を続けたい。
- 事業所 災害時は福祉避難所として伊万里向陽園が伊万里市と連携しています。ただ、原発事故があった場合は半径30km圏内ですので避難する必要があります。その際は嬉野市の障害者施設第一たちばな学園と避難先受け入れの協定書を交わしている。

その他、意見を募ったが特になく、議題第3号を終えた。

この後、他の住居の見学を行うことを伝え、一旦の会議の終了を宣した。

一同、施設内を見学後14時45分、散会した。